

日本離婚・再婚家族と

子ども研究学会

第4回大会プログラム・大会論文集

The 4th Annual Conference of

the Japanese Association for Research on Children of Divorced Families and Stepfamilies

2021年10月23日（土曜）－24日（日曜）

オンライン開催

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会

第4回大会開催にあたってのごあいさつ

今回第4回大会は、「紛争の解決」をキーワードに企画しました。離婚・再婚家族と子の監護をめぐる紛争解決には、法的解決のほか、心理的・生活空間的・経済的・社会的解決など、いろいろな解決すべき次元があり、これら全てを見据えた包括的な紛争解決が必要となります。

例えば、面会交流は、従来の日本の家族システムからすると馴染みの薄いものであったためか、「子どものための」面会交流といっても、多様な解釈が生まれ、なかなか共通認識として理解されなかったのではないかと思います。特に親同士の葛藤が高いと、調停等で納得のいく合意形成が困難となり、裁判段階で長期化したり、支援段階で紛争が再燃したりしてしまいます。

では、子どものための面会交流に向けた紛争解決は、どのようにあるべきでしょうか。これは親権や監護権の帰すうに関する問題や子の引渡等の紛争解決においても、同様に言える問題だと思います。大会では、ぜひこれらの議論を、様々な職域の会員の方々と深めたいと思います。

ところで、新型コロナウイルス感染症に関わる社会情勢を鑑みると、大会委員会としては、感染拡大防止の観点から、今年度も昨年度の第3回大会同様、オンライン開催とせざるを得ないという結論に達しました。詳細は現在検討中ですが、日程はトップページに記載したとおりです。

オンライン大会は、会員相互の交流が図りづらい面もありますが、全国の会員が交通費や宿泊費を気にせず参加できるというメリットがあります。技術の進歩を積極的に活用し、例年の大会以上に、盛大な大会にしたいと思います。

昨年度と同様、基調講演、大会シンポジウムを企画しておりますので、会員の皆様には、積極的な議論をお願いいたします。また、研究発表やラウンドテーブルでの議論も、お願いいたします。詳細は随時、ご案内いたしますので、ぜひオンライン上にご参集ください。

2021年10月2日

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会
第4回大会委員長 町田 隆司

目次

大会スケジュール	4
大会参加者へのご案内	5
1. 会場（使用ツール）	5
2. 交流会	5
3. 年次総会	5
4. 非会員の参加について（基調講演のみ）	5
5. オンライン開催にあたって厳守していただきたいこと	5
6. 書籍販売について	5
7. 会員交流スペース	6
8. お問い合わせ	6
研究発表、ラウンドテーブル企画者の方へのご案内	7
基調講演	8
大会シンポジウム	9
研究発表①	11
研究発表②	12
研究発表③	13
会員企画ラウンドテーブル	14
日本離婚・再婚家族と子ども研究学会 第4回大会論文集	15

大会スケジュール

大会スケジュール1日目 10月23日(土)

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
Zoom ビデオ ウェビナー						13:30 - 15:00 基調講演 (一般公開) 「子の最善の利益」保護をめざす 紛争解決 —家事事件実務・当事者支援の経験から—				
Zoom ミーティング ①	10:00 - 10:15 研究発表① 打ち合わせ	10:25 - 12:20 研究発表① ①-1 面会交流支援団体の調査報告 ①-2 面会交流に後る向きだった同居母親が前向きになるまでのプロセス ①-3 離婚を経験する親への支援の実態と援助ニーズの検討					15:15 - 18:00 大会企画シンポジウム 「面会交流や親権をめぐる紛争解決」 ・子どもの手続代理人から見た紛争の解決 ・ステップファミリーの子の養育—ドバイ法における同居実親、別居実親及び継親による養育と紛争解決についての一考察			
Zoom ミーティング ②	10:15 - 10:30 研究発表② 打ち合わせ	10:35 - 12:20 研究発表② ②-1 引き裂かれる親子 ②-2 子ども代理人弁護士に対する期待 ②-3 円滑な面会交流実施に向けた第三者機関と弁護士との連携協力の必要性								
spatial. Chat (スペチャ)	会員交流スペース 終日開放していますので、会員同士の交流の場としてご活用ください。									19:00まで

大会スケジュール2日目 10月24日(日)

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
Zoom ビデオ ウェビナー										
Zoom ミーティング ①	10:00 - 10:15 研究発表③ 打ち合わせ	10:25 - 12:20 研究発表③ ③-1 再婚意欲はステップファミリーのカップル相互にどのような影響を及ぼすのか？ ③-2 離婚のみ経験者と再婚経験者の離婚を考えた理由に関する比較的研究 ③-3 離別母子世帯における非同居親と子の関係性が子に及ぼす効果			13:20 - 14:30 年次総会		14:40 - 16:40 会員企画ラウンドテーブル 映像の中のステップファミリー— 一家族間の葛藤を可視化する			
Zoom ミーティング ②										
spatial. Chat (スペチャ)	会員交流スペース 終日開放していますので、会員同士の交流の場としてご活用ください。								17:10 - 18:00 オンライン交流会	

大会参加者へのご案内

1. 会場（使用ツール）

基調講演 | Zoom ビデオウェビナー

シンポジウム・研究発表・ラウンドテーブル | Zoom ミーティング

交流会・会員交流スペース | spatial.chat(スペチャ)

(アクセスに必要な情報は、大会 7 日前に配信予定の大会参加者宛のメールにてご案内します。)

2. 交流会

日時 | 大会 2 日目(10 月 24 日・日)17:10-18:00

使用ツール | spatial.chat(スペチャ)

<ご注意>

1. 事前のお申し込みが必要です。詳細は参加お申し込みの方に別途お知らせいたします。
2. 追加料金はかかりません。
3. 初めてお使いの方ために、[マニュアル](#)を用意していますので、ご参照ください。また、大会中は以下の 7 のとおり、交流スペースとして終日開放していますので、休憩時間等を利用して接続ができるかをお試しください。

3. 年次総会

日時 | 大会 2 日目(10 月 24 日・日)13:20-14:30

使用ツール | Zoom ミーティング

学会に対する会員の皆さまの期待やご意見をお聞かせください。

4. 非会員の参加について（基調講演のみ）

基調講演のみ、非会員の参加を受け付けています。

5. オンライン開催にあたって厳守していただきたいこと

参加申し込み時に、すべての企画についての守秘義務および、録音・録画・写真撮影を行わないことに同意していただいておりますので、その旨ご了承ください。

6. 書籍販売について

オンライン開催では書籍販売を行うことができませんが、[大会トップページの左側](#)および、この大会プログラムの巻末に出版社様のバナーや広告を掲載させていただいております。バナーや広告をクリックしていただきますと、各出版社様のウェブサイトを開覧できるようになっています。ぜひ御覧ください。

7. 会員交流スペース

使用ツール | spatial.chat(スペチャ)

spatial.chat(スペチャ)を終日開放していますので、会員同士の交流の場としてご利用ください。初めてお使いの方ために、[マニュアル](#)を用意していますので、ご参照ください。

8. お問い合わせ

- ・会場や大会全般に関するお問い合わせ 第4回大会事務局へ 2021office@jarcds.org
- ・入会等に関するお問い合わせ 学会事務局へ info@jarcds.org

研究発表、ラウンドテーブル企画者の方へのご案内

1. 【必須】マニュアルについて

研究発表(口頭)を行う会員やラウンドテーブル企画者は、事前に大会ホームページに掲載されているマニュアルの該当部分をご一読ください。発表の準備や当日の進行は、マニュアルに従って進めてください。マニュアルは、随時(開催当日中にも)改訂される可能性があります。ときどき、[こちらのページ](#)で最新バージョンをチェックしてください。

2. 【必須】発表時に画面共有するスライドや資料の提出について

研究発表(口頭)を行う会員やラウンドテーブル企画者は、発表時に画面共有するスライドや資料等を、10月22日(金)正午までにPDF形式で大会事務局(2021office@jarcds.org)宛のメール添付ファイルで提出してください。発表中にインターネット通信トラブル等で発表者が発表できなくなった場合に、大会事務局が代理でその資料を提示することがあります。トラブル等がなかった場合には資料は提示せず、他の目的で使用することもありません。

3. (任意) 配布資料について

研究発表(口頭)を行う会員やラウンドテーブル企画者で事前に配布したい資料等がある場合は、10月16日(土)までにPDF形式で大会事務局(2021office@jarcds.org)に提出(添付ファイル送信)してください。大会に参加申し込みをした人のみが資料をダウンロードできるようにします。

4. 【必須】事前打ち合わせについて

研究発表(口頭)を行う会員は、発表当日(10:00-10:15を予定)に研究発表者・座長・大会事務局で打ち合わせを行います。

ラウンドテーブル企画者は、登壇者と共にラウンドテーブル開始時刻の5分前までにラウンドテーブルで使用するZoomミーティングに接続し、簡単な段取りの確認を行うようにしてください。

基調講演

10月23日 13:30-15:10 Zoomビデオウェビナー

「子の最善の利益」保護をめざす紛争解決 —家事事件実務・当事者支援の経験から—

講演者 | 若林 昌子

(元裁判官／公益社団法人家庭問題情報センター顧問)

司 会 | 町田 隆司(東京家庭裁判所)・今里 恵子(麦田法律事務所)

本講演では、子の監護関連紛争の解決について、「子の最善の利益」の現実化をめざす基本的視座から、現状について問題の所在、今後の課題などを考察し、以下の基本的問題点について取り上げる。概要は以下のとおり。

(1) 父母の離婚に伴う子の監護関連紛争とは何か。

父母の離婚紛争は夫婦関係の終焉を、子の監護紛争は父母として養育責務関係の再生を、それぞれ目的とする。両紛争の固有性、関係性、多様性など本質的性質の分析が求められる。

(2) 紛争解決プロセスは如何にあるべきか。

相談から司法判断に至るプロセスと父母関係の再生可能性との相関性など、家裁調査官制度の機能を再確認し、当事者支援の専門性確保の制度化を問いたい。

(3) 現行関連法制度における問題の所在とあるべき法制度

実体法、手続法の総合的機能、離婚法制、離婚後の単独親権制度、子どもの代理人制度など、現在進行中の法改正議論の動向に注目したい。

(4) 「早期合意解決」の実現を担う民間組織・行政の当事者支援

比較法学の示唆、実務的実感として、紛争解決初期対応の質が、「子の最善の利益」実現の質に連動し、履行確保を実現する。相談・父母ガイダンス・当事者支援について、司法・行政・民間組織の連携、民間組織に対する公的支援など。

(5) 子どもの権利条約基本的理念の共有化と公的養育責務の制度化

紛争解決に関わる関係者の問題意識、基本的理念の共有は、「子の最善の利益」を現実化する。さらに、条約の国内法化、公的養育責務の制度化、現実化の進化を期待する。

大会シンポジウム

10月23日 15:15-18:00 Zoom ミーティング①

面会交流や親権をめぐる紛争解決

シンポジスト | 池田 清貴(くれたけ法律事務所/弁護士)

シンポジスト | ローツ マイア (東北大学大学院法学研究科/准教授)

司 会 | 町田 隆司(東京家庭裁判所)・今里 恵子(麦田法律事務所)・小田切 紀子(東京国際大学)

【企画趣旨】

今回のシンポジウムは、「面会交流や親権をめぐる紛争解決」がテーマです。人と人がパートナーとなって「家族」を形成し、子どもを育てていくという建設的な親同士の関係性は、いざ破綻すると子どもの奪い合いのための紛争に至ることがあります。その際、親同士の関係性の悪化によるしわ寄せを受けるのが弱者の立場にたつ子どもです。子どもの権利条約のいう「子の最善の利益」が基本であり、かつ重要で、何よりも優先して配慮されなければならないはずですが、いざ紛争となると、高葛藤化しいろいろな問題が出てきます。現在の日本において、果たして紛争解決のために十分な制度が用意され、機能し、連携しているのでしょうか。実際、紛争解決にあたる裁判官、家庭裁判所調査官や弁護士、そして、面会交流の支援をする実務家等の関係者は、様々な苦勞をされているのではないのでしょうか。

そこで、今回のシンポジウムは、基調講演に続く形で、池田清貴弁護士、東北大学のローツ マイア准教授に、シンポジストとしてご登壇いただきます。池田弁護士には「子どもの手続代理人から見た紛争の解決」を、ローツ マイア准教授には「ステップファミリーの子の養育—ドイツ法における同居実親、別居実親及び継親による養育と紛争解決についての一考察」を話題に、それぞれのご経験や研究結果、ご意見を語っていただきます。今回も前回に引き続きオンライン大会ですが、参加者の皆さまには、ぜひ活発なご議論をお願いしたいと思います。

子どもの手続代理人から見た紛争の解決

池田 清貴(くれたけ法律事務所／弁護士)

子を巡る紛争において、父母は子の利益を最も優先して考慮すべきとされており(民法766条 1 項)、父母の代理人も、子の利益にかなう限りにおいて親の利益の実現を目指すという構造となる。この構造は理想的には明快であるが、実践においては悩みは深い。通常、双方の親は自己の主張こそが子どもの利益にかなうと考えており、親の利益と子の利益は分かち難く結びついているからだ。

ところで、家事事件における「子どもの手続代理人」の制度は、子どもの意見表明権(子どもの権利条約12条)を実質的に保障する制度である。手続に参加した子は意見表明を通じて、自らの利益を主張する。この仕組みは親の利益と子の利益との違いを際立たせる場合もあり、悩み多き親の代理人にとっても、一つの光明をもたらす制度でもある。

本報告では、親の代理人が経験するディレンマや、それに対する工夫などについて紹介しつつ、子どもの手続代理人の活動のあり方、そのもたらす効果についても検討する。

ステップファミリーの子の養育

ードイツ法における同居実親、別居実親及び継親による養育と紛争解決についての一考察

ローツ マイア (東北大学大学院法学研究科／准教授)

ステップファミリーは、その形及び子の養育への関わり方が非常に多様であることが、海外及び日本のステップファミリーをめぐる実態調査で明らかにされている。ステップファミリーの子の別居実親がどの程度その子の養育に関わっているかも様々であり、継親とその継子の関係及び継親の継子の養育への関与の程度も多様である。

継親が継子と養子縁組をすると、法律上は「親子」となり、個別のステップファミリーの実態に関わらず、継親が同居実親と同様の(子に対する)権利義務がかされる。ドイツ法では、養子縁組をしなくても、継親が継子に対し「小さい配慮権」を有するとされる(BGB1687b 条。ただし、同居実親が単独配慮権者(単独親権者)である場合に限る)。継子養子縁組の一つのオルターナティブである。なお、この場合の継親の権利義務の範囲等が、配慮権者(親権者)より狭い。継親が「小さい配慮権」を有するため、ステップファミリーの子に、法律上 3 人の「親」ができる。それらの「親」が子の養育についてどの範囲で決定ができ、また、子の養育について意見の対立が生じた場合に、どのような解決方法があるかが問題となる。本報告では、この 2 点を中心に、ドイツ法の仕組み及び課題について紹介する。

最後に、ドイツ法では、継子養子縁組がされていないケースで、同居実親が死亡した後、継子が継親のところで生活し続ける手段が条文上明確に設定されている。しかし、継親と別居実親の紛争が生じ得る場面である。この仕組みについても紹介する。

研究発表①

10月23日 10:25-12:20

Zoom ミーティング①会場

座長:井村 たかね(聖徳大学・家庭問題情報センター)

10:30-11:00

①-1 面会交流支援団体の調査報告

——面会交流支援団体の実態と課題——

○小田切 紀子(東京国際大学)

渡邊 祥子(にじいろ法律事務所)

全国の面会交流支援団体(65 団体)を対象に、団体の設立時期、支援員の属性、支援内容、外部機関との連携などについて、アンケート調査と電話インタビューを実施、その結果を報告する。

11:00-11:30

①-2 面会交流に後ろ向きだった同居母親が前向きになるまでのプロセス

○草野 智洋(琉球大学)

小田切 紀子(東京国際大学)

青木 聡(大正大学)

離婚当初は面会交流に対して後ろ向きだったが現時点では前向きな気持ちになっている同居母親を対象にインタビュー調査を実施し、面会交流への意識が変わるプロセスを検討した。その結果、元夫への嫌悪感や不安がありながらも、面会交流を続けることによって面会交流のメリットを実感し、面会交流を通じて元夫を見直すというプロセスが明らかになった。高葛藤を理由として面会交流を制限するのではなく、面会交流を行うこと自体が葛藤の低減をもたらす可能性が示唆された。

11:30-12:00

①-3 離婚を経験する親への支援の実態と援助ニーズの検討

曾山 いづみ(神戸女子大学)

離婚を経験した親を対象とした質問紙調査から、離婚当事者の援助ニーズと支援の実態について検討した。離婚時に未成年の子どもがいて離婚を経験したことのある成人男女309名を対象に、離婚時、離婚後の相談相手や相談したかったこと、欲しかった支援等について尋ね、今後必要とされる支援について検討を行った。

12:00-12:20

交流・質問 | 座長によるセッション終了の挨拶後、Zoom ミーティング①を時間まで開放しますので、発表者・座長の交流や、聴講者でご希望の方は追加の質問などの時間としてご利用ください。

注。○は発表責任者である。

研究発表②

10月23日 10:25-12:20

Zoom ミーティング②会場

座長: 吉田 浩(青森家庭裁判所)

10:30-11:00

②-1 引き裂かれる親子

——今起きていること、その背景——

鈴木 明子(中央大学)

現在社会問題化している子をめぐる紛争について、現代の日本でなぜ問題が深刻化し、また法制審議会に諮問されるまでに至ったのか、その要因や背景について、さまざまな資料をもとに整理・考察する。引き裂かれている親子の現状について研究を進めるための手がかりとして、またよりよい仕組みを模索するための視点も合わせて考えていきたいので、多くのご教示を頂ければ幸いである。

11:00-11:30

②-2 子ども代理人弁護士に対する期待

——葛藤を下げる前に「避ける」——

古賀 礼子(第一東京弁護士会)

子ども手続代理人制度が導入されたものの、まだ活用例は乏しいと言われる一方で、離婚や別居に際して、将来の子の養育環境のあり方をめぐっては、共同親権制の導入も視野に議論が活発になっている。離婚案件の当事者は父母になるが、子どもの利益の実現には、子ども代理人の視点が有用といえる。父母のいずれかが依頼者であっても、親にとってかけがえのない子の利益にも配慮することが、結局は、親である依頼者の利益にも貢献する。

11:30-12:00

②-3 円滑な面会交流実施に向けた第三者機関と弁護士の連携協力の必要性

しばはし 聡子(一般社団法人りむすび)

係争中の試行面会において、父母のカウンセリングや面会交流の現場を通して父母両者の葛藤や親子の様子を知る第三者機関と、父母いずれかの代理人であり裁判所で法的な条件等取り決めを交渉する弁護士が、それぞれの専門性を活かし協力連携をしながら役割分担することで、円滑な面会交流を実施さらには拡充しやすくなることを、事例紹介を交え提唱する。

12:00-12:20

交流・質問 | 座長によるセッション終了の挨拶後、Zoom ミーティング②を時間まで開放しますので、発表者・座長の交流や、聴講者でご希望の方は追加の質問などの時間としてご利用ください。

研究発表③

10月24日 10:25-12:20

Zoom ミーティング①会場

座長:久保 桂子(和洋女子大学)

10:30-11:00

③-1 再婚信念はステップファミリーのカップル相互にどのような影響を及ぼすのか？

——夫婦ペアデータを用いた行為者 - パートナー相互依存モデルの検討——

○直原 康光(富山大学)

#安藤 智子(筑波大学)

野沢 慎司(明治学院大学)

ステップファミリーのカップル相互の影響関係を明らかにすることを目的に、266組のカップルデータを用いて、再婚信念と婚姻満足度、ステップファミリーに関する困難さとの関連を行為者パートナー相互依存モデルを用いて分析した結果を発表する。

11:00-11:30

③-2 離婚のみ経験者と再婚経験者の離婚を考えた理由に関する比較的研究

——離婚・再婚の実態調査の結果を踏まえて——

○野口 康彦(茨城大学)

直原 康光(富山大学)

本発表では、離婚・再婚の実態調査の結果を踏まえつつ、離婚のみ経験者と再婚経験者の離婚を考えた理由に関する自由記述回答を質的な分析方法を用いて検証し、両者の比較検討を行う。

11:30-12:00

③-3 離別母子世帯における非同居親と子の関係性が子に及ぼす効果

——別居父と子の関係は子どもの自己肯定感に影響を与えるか？——

稲葉 昭英(慶應義塾大学)

大規模公共利用データを用いて、離別母子世帯の非同居親(父)と子ども(全員中学3年生)の関係性が子どもの自己肯定感に及ぼす効果を分析する。

12:00-12:20

交流・質問 | 座長によるセッション終了の挨拶後、Zoom ミーティング①を時間まで開放しますので、発表者・座長の交流や、聴講者でご希望の方は追加の質問などの時間としてご利用ください。

注. ○は発表責任者、#は非会員である。

会員企画ラウンドテーブル

10月24日 14:40-16:40

Zoom ミーティング①会場

映像の中のステップファミリー

—家族間の葛藤を可視化する

- 企画者 | 野沢 慎司・緒倉 珠巳・菊地 真理・青葉 由紀子
話題提供者 | 野沢 慎司(明治学院大学)
話題提供者 | 緒倉 珠巳(ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン)
話題提供者 | 菊地 真理(大阪産業大学)
ファシリテーター | 青葉由紀子(ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン)

私たち企画者は、ワークショップ、研修、授業など多様な教育場面で、独自の構造と過程をもつステップファミリーについて解説してきた。その際に、様々な映像メディアに描かれた家族を受講者に見てもらうことが、理解を格段に促進することを経験してきた。米国の E. アドラー・バーダー教授が開発した教育プログラム Smart Steps でも、映像教材が効果的に使用されている。映像に描かれたいくつかのシーンを紹介した上で、ステップファミリーのメンバー間に生じる葛藤についてグループ・ディスカッションに参加し、映像の教育効果を体験していただく。

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会

第4回大会論文集

(参加者のみ公開)

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会

第4回大会プログラム・大会論文集

2021年10月16日 第2版発行

日本離婚・再婚家族と子ども研究学会第4回大会委員会

オンライン開催